

信頼される学校であるための行動計画

三重県立桑名工業高等学校

1 方針

“チーム桑名工業”として『不祥事やハラスメント・体罰等信頼を失う行為を「しない」「させない」「許さない』を合言葉に、主体的に不祥事防止に努める。また、信頼される学校づくりに向けて教職員一人ひとりがそれぞれの良さを活かして、互いに支え合える職場づくりを意識しながら、同僚性を高めていく。

2 組織・体制

(1) 学校信頼向上委員会

運営委員を中心に協議内容によって柔軟に委員構成を変え、本校の現状、課題等を把握し職員会議等で周知するとともに改善方法を考える。

(2) 各分掌、学年、各種委員会

定期的で開催される各部会議・学年会、各種委員会において課題等を話し合い、協議を重ねることでチーム力を高める。

3 具体的な取組

(1) コンプライアンス・ミーティングの実施（1・2 学期）

各学期当初の職員会議後に身近な題材で協議を行う。

(2) ミニ・コンプライアンス・ミーティングの実施（適宜）

少人数の班別（5～7人程度、年齢、性別、分掌等を配慮）で具体的な事例を題材に協議、意見交換を行う。

(3) 校長からの情報共有

県教育委員会や新聞報道等の情報を校内ネットワークで配信し、意識を高める。

(4) 校長面談等での職員の把握

定期的な面談はもとより、些細なことでも気になることがあれば面談を行い職員の状況を把握する。

(5) ハラスメント・体罰の根絶及び未然の防止

リフレーミング研修・ペップトーク研修を実施し、ハラスメント（不適切な発言含む）を行わない言動について知識・技能を深める。また、生徒を対象としたアンケートを各学期に実施し、ハラスメント・体罰につながる事案がないかを把握する。

(6) 働きやすい環境づくり

- 全職員が常にコミュニケーションをとれる職場の雰囲気醸成する。
- 産業医やスクールカウンセラー等との連携を密にし、メンタルヘルスの保持への対応を行う。
- ICT を活用し、会議資料のペーパーレス化と会議時間の短縮を進める。定時退校や休暇の取得について声掛けの機会を増やし、総勤務時間の縮減を図る。
- 生徒への指導事項等を全教職員が徹底して実施する。